

「鳥取市 Smile 月間」における取組概要について

鳥取市立宮ノ下小学校

① 縦割り班活動を通した仲間づくり

6年生が中心となって企画した遊びを休憩時間に縦割り班で行うことで、交流を図りともに楽しい時間を過ごすことでつながりを深めた。



② あいさつ運動

運営委員会の児童が、「あいさつで明るい学校にしよう」「自分から進んであいさつをしよう」と呼びかけ、毎朝、各学級に赴いて呼びかけた。また、国府中学校と合同の朝のあいさつ運動にも取り組んだ。



③ スマイル参観日（人権教育参観日 6月25日）

本校の人権教育（いじめ防止）の取り組みの一端を保護者に公開するとともに、いじめ防止基本方針の概要、道徳教育の取組について、懇談会を開き説明した。人権擁護委員さんから児童に向けて話をしていただいた。



④ 万葉タイム

3～4人のグループを作り、アドジャンや二者択一に取り組んだ。



⑤ ハッピーバースディプロジェクト

誕生日の児童や教職員を全校でお祝いするプロジェクト。誕生日当日は誕生日カードを付けて学校生活を過ごし、「誕生日おめでとう」の言葉を掛け合った。



⑥ 人権の花運動

頂いた人権の花を植えて育てたり、育てた花を地域の方々に送ったりした。



[illegible]

《保護者研修会の様子》

参観日後に、PTA 研修部の方々が主体となって保護者研修会が開催された。事前に研修部の方々が「どんな話を聞いてみたいか」「どんな内容だとたくさんの保護者の方が参加して下さるか」「今の子どもたちの実態に合う演題は何か」を話し合い、以下の通り実施した。

演題：「『宿題やった?』やる気を持たせる関わり方」

講師：「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテーター 高尾さん

内容：体験参加型ワークショップ



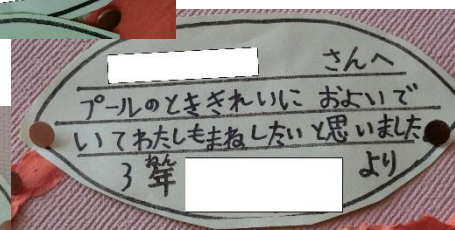
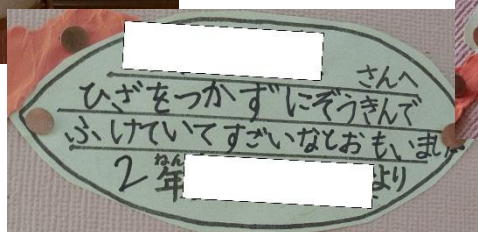
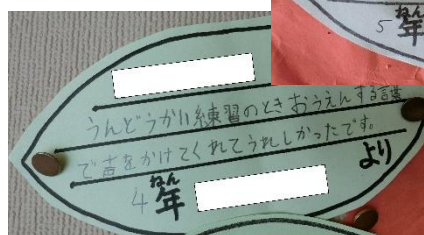
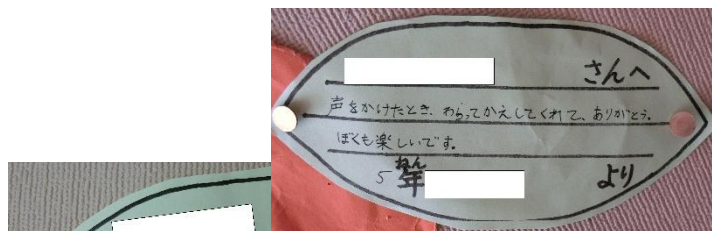
その時の子どもの気持ち、
状態をよく見て、その時
に合った声かけや励まし
の言葉をかけていきたいと
思いました。子どもに思っ
たが伝わるよう、ふたから
話をするのも大切にし
たいです。

こどもの今の状態、気持ち
を伝え入れ、寄り添うことが
大事だなと思いました。
小さな成功もひとつずつ
ほめて、積み上げていけたら
と思います。
今日、楽しかったです。
ありがとうございました。

この家庭の話が聞けるいい機会に
なりました。
まずは子どもの話を聞いて、その子に合った
言葉がけをしなければいけないと思いました。
小さな進歩も見つけてはほめて子どもの
やる気を引き出してあげられるように
親も向き合って努力しないといけないな
と感じました。
グループの話し合いで出た意見で
課題を見つけて子ども自身に決めさせる事も
大事だなと思いました。

○万葉の木の取り組み(年間)

国府中学校区のリレーション部会の取り組みとして万葉の木の取り組みを行っている。友だちにしてもらってうれしかったことや、友だちの頑張っている姿などを葉っぱの手紙に書き、週に一度、放送担当がお昼の放送で紹介した。紹介した葉っぱは一階のホールにある万葉の木の掲示に貼り、少しずつ葉を増やした。



★鳥取市立国府中学校「鳥取市 Smile 月間」の取組

①Kタイム(生徒会執行部の企画、運営による全校レクリエーション)

(1)ジェスチャーだけでお題にあった順番に並び大きな輪をつくるゲーム(ボンデリング競争)



(2) すごろくトーク(コネクトーク)



(3) 大縄(大きい縄)



②人権標語(生活アンケートの際に実施)

「ばんそうこう 心の傷は 治せない」 「仲良しで 笑顔あふれる 国府中」

「したらだめ 自分がされたら 嫌なこと」 「被害者は 忘れることない この気持ち」

「悪口は 自分も相手も 傷つける」 「てをつなごう そしたら広がる 笑顔の輪」

